

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の学びを深め進路実現を図る教育課程を編成し、学習意欲と学力を向上させる。</li> <li>カリキュラム・マネジメントを推進し、協働的に課題発見・解決できるグローバルリーダーを育成する。</li> <li>特別活動等を通して主体性、社会性、協働性、創造力等の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①課題発見能力、批判的思考力を育成し、学習意欲と学力を向上させる。</li> <li>②学校行事や校外学習を通して企画力、社会性、協働性を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・指導と評価の研修を行い年間指導計画作成に活かす。</li> <li>・新旧教育課程の整理、進路実現に向けた履修指導を行う。</li> <li>・分野横断の視点で教科指導を行い、総合的な探究の時間との有機的な連携を図る。外部連携を推進する。</li> <li>②各教育活動の目的等を適切に計画・実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・効果的な履修指導により学習意欲、学力は向上したか。</li> <li>・生徒アンケート等による形成的評価により、課題発見能力、批判的思考力は育成できたか。</li> <li>②特別活動等において企画力、社会性、協働性を育成できたか。</li> </ul>						
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導・支援の組織的取組を推進し、たくましく生きる力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒のセルフマネジメント力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人権、防災等における問題解決の場面を作る。</li> <li>②出席状況把握等によりチーム学校として早期支援に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自らを取り巻く諸問題への関心・意欲が高まったか。</li> <li>②早期支援に取り組めたか。</li> <li>・SC等の活用は促進したか。</li> </ul>						
3 進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な教育活動をとおし、生徒が主体的に進路目標を定め実現していく力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①目標実現までのロードマップ作成を通して、主体的な進路実現を図る。</li> <li>②予測不能な社会で、自らの進路を定め生き抜く力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路行事の有機的関連を図り面談等を活用する。</li> <li>・新旧3年の情報共有研修を行う。</li> <li>・外部ツールを活用し模擬試験の分析を組織的に行って、教科指導の補強と個に対する支援を行う。</li> <li>②発達段階に応じた進路講演会、上級学校を知る説明会、学問探求のための講座等を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路実現に対する各進路行事の効果はどうか。</li> <li>・教科指導の補強と個に対する支援が進路実現に活かされたか。</li> <li>②キャリアパスポート、アンケート等から、生徒が捉えた自己の変容を分析する。</li> </ul>						
4 地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育資源を活用し、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する。</li> <li>・家庭、地域社会等との連携・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びにおける外部連携を推進し、思考力、判断力、協働性等を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間でフィールドワーク、意見交換等で外部連携し探究活動を深める。</li> <li>・特別活動では生徒が企画し連携す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部教育資源の活用は有効であったか。</li> <li>・外部連携により生徒の思考力、判断力、協働性等は高まっ</li> </ul>						

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		協働により、持続可能な社会の創造を図る。		<p>るよう支援する。 ・進路指導、学習発表会、英語力活用などで連携を進める。</p>	<p>たか。 ・外部連携により生徒は何を得たか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>・社会の変化に対応し、柔軟かつ迅速に教育課題に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。 ・教育計画とのバランスを図り、教員の働き方改革を進める。</p>	<p>①社会の変化に柔軟かつ迅速に対応し、教育力向上を図る。 ②校務の適切な効率化と協働を促進し、働き方改革を推進する。</p>	<p>①学校目標の評価を生徒の視点から検証する。 ②効果的なオンライン授業や適切な情報共有のあり方を工夫する。 ・休日の教育活動を極力減じる。</p>	<p>①評価ツールを作成し実行・検証ができたか。 ②オンライン授業や情報共有は進んだか。 ・当年の教育活動、次年度の計画が適正に組めたか。</p>					